

タウンミーティング会場での質疑応答内容

項目	意見・質問	回答内容
施設・整備	配置モデルについて、送迎や参観の際の車の出入りに ついてはどう配慮するのか。 学校行事の際の混雑や路駐の解消をしてほしい。	複数の学校を再編することで送迎等による車の出入りが多くなることは理解している。 周辺環境への配慮なども含め、今後検討していく。
	給食施設を敷地内に設置することなので、御所の 食材を使った学校給食の導入なども検討してほしい。	御所地産の食材を使う地産地消の取組は進めているところなので、新しい学校づくりに 限らず今後も推進していく。
	新しい学校の整備にあたり、プールや運動場が一時的に なくなる期間が発生するが、その期間の対応はどのよう に考えているのか。	プールについては、活用可能なプールへのバス移動等の対応を想定している。 運動場については、運動可能なスペースの確保に努める。
	中学校教員の経験から、広すぎる多目的室は使用しづら いため、目的に合わせて柔軟に形や大きさを変えられる 諸室してほしい。	事務局としても同様のイメージは持っており、可動式の諸室や設備を導入することで 様々な学習スタイルに適應できる施設としたいと考えている
	特別支援学級の児童生徒は今後も増加すると考えられ る。ハード面での配慮をしてほしい。 (例:視覚や聴覚を遮断でき空調も整っているカームダ ウンスペースを教室の近くに配置するなど) 施設に関して、保護者等の意見を聞きながら検討してほ しい。	事務局としてもカームダウンスペースをはじめとしたハード面での配慮は必要だと考え ている。今後は教職員WSや各種アンケートを通して学校施設に関する意見を集約し、 集約した意見を踏まえて検討を進めていく想定である。
	説明があったような校舎、教室の数、廊下の幅などから 余裕があるものにできるのか。	王寺北義務教育学校をモデルとして検討している。十分に余裕のある施設としたいと考 えている。
安全・防災	基本方針書をみると駐車場がない。駐車場対策はある のか。	学校行事等で遠方から来る保護者、教職員の駐車場の重要性は認識している。市庁 舎移転跡地も候補地として近隣の空き地の有効活用を検討している。また限られた敷 地を有効に活用したい。例えば学校の敷地内・運動場も視野に入れたいといけなと 考えている。
	校舎からグラウンド(現御所中学校敷地)へ移動する際 に公道を通過することへの対策はどのように考えている のか。	校舎側にグラウンドと3つの体育館を用意し、授業や日常生活は校舎側で完結するよう 配慮する。 現御所中学校敷地に整備するグラウンドは主に中学生の部活動で使用する予定となっ ており、十分な安全が確保できるよう対策を検討中である。
	過去に葛城川が決壊して被害が出たことがあり、整備地 が危険な場所であるとの意見もある。 浸水対策などの防災対策を進め、安全安心な学校づく りを進める必要があると考える。	校舎予定地は浸水想定0.5m未満となっているため、造成や校舎基礎のかさ上げを検 討中である。 指摘にあった護岸工事なども合わせて検討し、安全安心な学校づくりを進めていく。
	授業参観の際や、大雨等で送迎が必要になった際に渋 滞が生じることが懸念されるが、どのように対策してい くか。 また、大雨などの緊急時に交通手段がなく送迎が難しい 家庭への配慮はどのように考えているか。	渋滞対策について、学校周辺に駐車場を確保することも含めて検討していく。 緊急時には、スクールバスも活用した対策を検討していく想定である。
配慮・支援	葛城川沿いに建設させる配置図について、河川沿いに 設置されるのはケンではあるか。急に大雨が降って予 測できないことを想定して対応してもらいたい。	建設予定地の御所小学校グラウンドは浸水想定深50cm未満となっている。このため造 成、もしくは基礎・床高さを上げて浸水対策をする考えである。また、川の増水などが起 こる前においては警報が出されることから早期に子どもたちを避難されるなど対策を実 施していきたい。予測できないゲリラ豪雨も全国的に大きな問題となっている。先ほどの 説明もあったようにハード対策及び運用面(早急に下校、垂直避難、防災教育等)で徹 底して対策を実施していきたい。
	再編に際して児童生徒へかかるストレスにも配慮する必 要がある。特に受験を控えている生徒へのケアはどのよ うに考えているのか。	現在、各学校の児童生徒同士で交流する取組を推進中であり、このような取組を通し て児童生徒のストレス低減を図っていく。
	多様な学習活動が展開できる空間について、馴染みの ない学習スタイルへスムーズに適應できるように、デモン ストレーションのようなものを実施するなどの配慮は想定 しているか。	様々な学習に適應できるようにするという趣旨であり、既存の学習スタイルを全て変更 するという趣旨ではない。 新たな学習スタイルを取り入れる際には、馴染みのない方法に対して混乱が生じないよ うに配慮していく。
	現在少人数学級で学習している児童生徒にとって、突然 学級人数が増えることはストレスにもなる可能性がある。 対策として、現時点から子どもたち同士の交流を生む取 組などを行っていると思うが、今後の取組方針はどのよう なものを想定しているか。	「御所市学校教育ビジョン」の中で「ひとつの学校プロジェクト」を立ち上げ、学校同士 をオンラインで繋げ児童生徒同士の交流を深める機会づくりを実施している。 今後はこのような機会を増やすとともに、リアルで交流する機会を学年ごとに設定する 予定である。 また教職員についても、同じ学年を担当する教員同士の交流を生む機会を作るなど、 御所市内の学校を「ひとつの学校」として捉えた取組を推進しており、学校再編までの 期間を使って児童生徒が可能な限り不安なく再編できるよう取り組んでいく。
	中一ギャップの解消は望ましいことではあるが、高校入 学時には人数のギャップを経験することになる。 高校入学時のギャップへのストレスについてはどのように 考えているか。何か支援策等は検討しているか。	現状ではクラス替えも難しい状態であり、現在の学校から高校に入学する際の人数 ギャップは相当に大きい。 対して再編後の学校規模は中規模校程度になるため、現在に比べて高校入学時の ギャップは軽減され则认为している。
	クラス人数の設定について、低学年は少人数にするなど の柔軟な対応も可能だと考えるが、1クラスあたり 25~30人という人数設定は決定事項なのか。	文科省の基準では小学校は1クラスあたり35人、中学校では40人となっているが、御 所市では教員の数を充実させたい趣旨で25~30人を想定しており、学校規模適正化 推進委員会の答申の内容にも沿う形である。 ご指摘の通り、低学年は少人数での授業が望ましいという場合も想定されるが、その場 合には教員配置などとの兼ね合いもあるが、クラスではなくグループ単位での授業など の工夫を検討していく。

項目	意見・質問	回答内容
学校運営	運営形態の類型の中で、小学校と中学校の教職員が連携できるとあるが、中学校教員が小学生の授業も行うなど、教職員の負担増に繋がる恐れがあるのではないのか。	一方的に中学校教員が小学生を担当するわけではなく、小学校と中学校教員の相互の連携が可能になるという趣旨であり、教職員の負担増加に繋がらないように配慮していく。
	義務教育学校にするとのことだが、小学校・中学校の概念がなくなるのか。中学受験は可能か。	小学校と中学校を合わせて9年間の学校になるとのイメージでとらえていただきたい。中学受験は可能である。
	現在の学校では各学校ごとにルールや決まりがあると思うが、統合後の学校においてはどのように移行していくのか。	現在教職員を中心に教育課程部会を立ち上げており、学校ごとの各種決まりやルール、教育カリキュラム等について、今後5年間かけて検討していく想定である。
	新しい学校の名前は決まっているのか。未定なら子どもたちの意見を取り入れる形にすることで、子どもたちが新しい学校へ関心を持つ機会にも繋がる。	現在は新しい学校の施設に関するを中心に検討を進めているが、学校名や校章、校歌等ソフト面については、次年度以降に総務部会を立ち上げて検討することを想定している。他市においては、学校名を公募にしている例もあり、愛着を持ってもらえるような工夫をしたいと考えている。
	教員数の確保も大変だ。確保できるのか。	人事については県教育委員会と今後協議して他市とも交流しながら進めていきたい。
	義務教育学校への移行によって、学力向上は期待できるのか。また、生徒の持ち物が多い点について、必要以上に多くならないよう配慮することは可能なのか。	様々な専門性を持つ教員が揃い、多様な教育が可能となる。生徒の持ち物については、必要性を考慮しながら対応を進めていく。
	開校時約890人は適正規模なのか。大規模校ではないか。	規模については文科省が望ましい基準値を示している12学級以上～18学級以下となっているため適正規模範囲内である。検討過程では部分再編の検討もあったが一時的それでも良かったとしても数年先には小規模校化が進行するため今回の再編計画となった。
	義務教育学校についてだが、これまでの制度とどのような違いがあるのか。	現在、小学校、中学校はそれぞれ独立した施設となっているが、義務教育学校では小中一貫の施設として1つにまとめられることになる。
教育内容・カリキュラム	新しい学校への移行期については、既存校の制服やランドセル等はどうなるのか。	制服やランドセル等の対応については、保護者の方々の意見も聞きながら今後検討していく。他市においては段階的な対応をしている例もあるため、そういった事例も参考にしながら検討する。
	カリキュラムについては今後検討することだが、カリキュラムの検討内容を施設の計画に反映させていくことも重要だと考える。今年度はカリキュラムについてどのように検討していく想定か。	カリキュラムについて、現在教育課程部会を立ち上げており、学校関係者や有識者とともに検討を進めていく想定である。教育に関する大きなビジョンに関わる事柄であるため、教育大綱や今後の御所の教育に関する方針などと合わせて検討を進めていく。
	運営形態の類型の中で、教育課程として「4-3-2制」「6-3制」という記載があるが、どういう意味か。	従来は小学校6年間、中学校3年間という学年区切りが原則だったが、区切りを柔軟に設定できるという意味である。具体的にどのような区切りにするのかについては現在検討中。
	小中一貫校のデメリットに対してはどのように考えているか。特に教職員が新しい学びに適應していくためには一定の資質向上が必要と考えられ、現時点で対策は講じているのか。	「御所市学校教育ビジョン」の中で「ひとつの学校プロジェクト」を立ち上げ、市内の小中学校を一つの学校に見立てた取組を推進している。こうした取組を通じて、新しい学びに向けて教職員の足並みを揃えていく。
工事期間の運営	新しい学校のビジョンや方針については決まっているのか。検討に際してパブリックコメントは今後実施されるのか。	新しい学校のビジョンや方針については次年度検討していくが、これまでの検討の中で「御所市教育ビジョン」を策定し、HPにて公開している。次年度以降の検討においては「御所市教育ビジョン」を基に検討を進める想定である。検討に際しては、パブリックコメントの実施も想定している。
	工事期間中の学校運営方法や具体的なスケジュールに関する説明はいつ頃になるのか。工事中の安全性にも配慮しながら、可能な限り早めに関示してほしい。	実際の工事の流れについては次年度に予定している基本設計実施設計の中で確定していくため、確定次第お伝えする。今年度の基本計画策定の中でも、文化財調査などで児童生徒の活動に影響が出る事柄が生じた際には、その都度お知らせしていく。
	新しい学校の建設中に、現御所小中学校で学ぶ児童生徒の活動に制限が出るのが懸念されるが、これに対してはどのような配慮をするのか。	工事期間中に現御所小中学校の児童生徒の活動に制限が発生することは想定されるが、授業や遊びに使用できる一定のスペースを確保するなど、可能な限りの配慮を行う想定である。建設の順番やスケジュールについては現在は提示できないが、今後詳細が確定次第お伝えしていく想定である。
	工事の時間帯など、工事期間中の授業への配慮はどのように考えているのか。	具体的な工事の時間帯等は工事業者確定後に調整することになるため、必ずしも授業時間帯を避けた工事とすることは確約できないが、可能な限り学校環境を害することのないように学校とも連携して取り組んでいく。
	スクールバスの運行について、学年によって送迎の時間帯に違いが出るのか。	登校の時間については学年に関係なく一律設定とし、下校の時間については低学年・高学年・部活動生徒用などの区分で時間帯を分けることを想定しているが、詳細については現在他事例も参考にしながら検討中である。
	全員がスクールバス通学の対象ではないと思うが、通学上の安全対策はどのように考えているのか。	現御所小中学校の校区に住んでいる児童生徒については、通学路などに変更はないことを想定している。スクールバスの運行上の安全対策については、ルートや乗降所の設定も含め、今年度検討していく。
	通学路の安全確保のためには道路整備等も必要だと考えるが、道路整備についてはどのように考えているのか。道路整備の必要性等について意見を出した場合、即座に対応してもらえるのか。	道路整備については、通学路の安全確保以外の観点からも重要だと考えている。通学路の安全協議会を設置し点検等を実施しているほか、学校経由で整備必要箇所を報告してもらい、県や警察と連携しながら対応を実施している。今後も気になる箇所等があればご意見をいただきたい。いただいた意見に対しては、内容に応じて様々な対応策が考えられるので、内容に応じた対応を検討していく。

項目	意見・質問	回答内容
通学	遠方からの通学となる児童生徒に配慮し、始業時間をずらす等の対応は想定しているのか。	具体的なバスルートや通学時間については現在検討中である。現在の始業時間は8:30となっているので、8:00頃に学校へ到着するような行程を想定している。
	通学時間について、気温上昇などの背景も踏まえ、徒歩時間を調整するなどの対応は想定しているのか。	通学時間については、徒歩区間とバス区間を合わせて最大1時間程度となるように想定している。国のガイドラインだけでなく、他市事例も参考にしながら現在検討中である。
	4キロの通学距離についてだが、小学生の場合、徒歩で1時間ほどかかる可能性がある。通学方法について、さらなる検討をお願いしたい。	承知した。さらなる検討を行います。
	通学バスについて、部活等で下校時間にバラつきが発生することが想定されるが、バスの本数や運行時間等についてはどのように検討しているのか。	登校の時間については学年に関係なく一律設定とし、下校の時間については低学年・高学年・部活動生徒用などの区分で時間帯を分けることを想定しているが、詳細については現在他事例も参考にしながら検討中である。
	通学バスについて、吉野町では8路線で午後は朝1便、夕方は3便3本の運行をしている。御所市はどうか。	通学バスは現在、検討中であり詳細なことは回答できないが、他市の例も踏まえて検討を進めている。例えば、便数については登校時は1便。下校時低学年、高学年、中学部の3便になることを考えている。
	通学支援に関して、スクールバスの運行について「4キロ圏内」との話があったが、子どもたちに歩かせるには負担が大きいのではないのか。バス停の位置と添乗員の配置について、具体的な検討状況を教えてほしい。	今年度中に通学バスの方針を示す予定である。国のガイドラインはあるものの、他市では4キロ圏内でも通学バスを運行している自治体も存在する。添乗員については、トラブルを未然に防ぐために検討を進めていく方針である。
学童	新しい学校の整備に伴い、学童保育はどうなるのか。	詳細はまだ決まっておらず、今後新しい学校づくりと併せて検討していく。決定事項ではないが、一つの学童に集約し、新しい学校の敷地内か隣接地で整備するという方向性で検討を進めていく方針である。
	子どもが学童に通っているが、学童はどのようになるのか。ふるさととのつながりや保護者の送迎を考えると地元で学童を残してほしい。	学童については、新しい学校づくりとともに検討していく。1つの学童施設として集約する方針だが義務教育学校と同じ敷地内、もしくは隣接地で設置することを検討している。
	再編に反対しているわけではない。葛校区では幼稚園がなくなり学校も統合されてきた。その中でいろんな不安がでてきている。通学もそうである。これから御所市で子育てしていこうとされる方もいるが、一人ももれなく安心して教育が受けられるようにしていただきたい。学童はどちらの部署が主管になるのか。	学童については市の福祉部門で対応している。学校部局と連携しながら対応していきたい。通学バスについては次年度中心に考えていく。保護者の方からも様々な意見もある。一定の提案をさせていただきながら検討していきたい。
	学童について。葛地区の児童が学童を利用すると移動時間にして往復20分かかる。新しい学校になるともっと往復の時間がかかる。地域とつながることは小さな単位が必要。こどもも安心できる。学校は1つになっても学童は地域に設置できないか。御所の中心にすべてをもっていかれると切り捨てられる感じを受ける。	学童保育については保護者の送迎が前提にある。お話しいただいた課題は認識している。意見を踏まえて検討を進めていきたい。
	学童保育に関して、現在の立地であれば仕事との両立が可能だが、御所小学校に移る場合、送迎と仕事の両立が難しくなる可能性がある。延長保育などの対応を検討してもらえるのか。	学童保育については、学校の集約に合わせて現在7つある施設を1か所に集約する考えである。保護者の送迎における負担が増えることは認識しており、詳細については今後検討していく。
	給食センターの跡地については、どのように活用するつもりなのか。京奈和自動車道の東側にはコミュニティセンターが存在しないため、新設を提案したい。	給食センターの取得用地と跡地については今後土地利用の検討を実施する。
財政・費用	事業費はどの程度かかる見込みなのか。	ホームページで公開している基本方針における試算では、約100億円程度費用が必要と見込んでいる。
	現在、経常収支比率が低下している状況だが、新庁舎と学校の建設を進める中で、財政負担についてどのように考えているのか。	現在、財政見通しを立てつつ計画を進めており、財政状況を注視しながら財源確保を検討している。公債費比率を低下させる努力も続けており、学校整備に活用可能な補助金や地方債等を活用する方針であり、市にとって有利となる方法を検討していく。
	現時点での借入金総額はどれほどあるのか。	財政見通しを検討している。
	自主財源が全体の約3割に留まっているが、この状況で財政運営は問題ないのか。	税収を増やすための取り組みも必要である。基金を設けるほか、さまざまな財源を活用することを視野に入れている。
	児童生徒数からみれば大規模な校舎が必要となる。敷地内に収まるのか。財源も相当いるのではないのか。	配置等について現在検討中である。財源としては財政部局と調整しながら将来負担が大きくならないように検討している。また、社会的に物価上昇の懸念もあるができるだけ抑制に努めていきたい。
	建設費用はどこから捻出するのか。これに伴って住民税が上がるようなことはないのか。	学校建設に活用可能な補助金や地方債を活用する方針となっており、具体的な財源整理は今後市にとって有利になるように検討していく。住民税が上がるようなことは想定していない。
	質問が3点ある。①学校の再編が人口増に寄与するのか。②小学校の生活範囲は限られた範囲（自宅周辺）となっている。地域及び市全体からみて教育行政のマネジメントを行っていただきたい。③学校の先生が通勤するにあたって駐車場や交通環境など問題が生じないのか。先生が気持ちよく勤務してもらえるような計画を考えていただきたい。	①人口増になる計画はないがよい教育環境をつくれればプラスの要素になると考える。②地域との連携については現在既にいろんな連携を進めている。将来的には地域のこともと住民と一緒に遠足へいくことができないか等考えている。包括連携協定として勉強会を開催する例もある。こうした取組も検討していきたい。③敷地周辺の道路が狭く、駐車場等の課題があることは認識している。そうした点についても課題認識しながら検討を進めていきたい。
	参加者数は毎回50～60人程度なのか。	校区によって異なるが毎回30人～50人程度参加して頂いている。

項目	意見・質問	回答内容
全体	通学の負担等も考慮すると、一気に一つの学校に統合するのではなく、市の南北で1校ずつにするといった段階的な統合も考えられるのではないのか	段階的な統合も検討したが、児童生徒の減少を見据えると統合後に再び統合が必要になる見込みであり、再統合の負担を考慮し一校への統合とした。 一つの学校に統合することへの児童生徒の不安解消のため、現在は学校の垣根を超えたWS等を実施している。
	秋津小学校は御所の中心部にあるが、なぜ秋津小学校ではなく御所小中学校を新しい学校の整備候補地としたのか。	児童生徒にとって良好な学習環境を可能な限り早く整備することを第一として検討した。 まず、迅速な事業実施や不確実性の排除のため、新たな用地取得を行わず既存敷地を活用することから検討を開始し、敷地面積や学習環境、通学環境等の様々な観点で比較を実施した結果、現在の整備地となった。 詳細についてはHPで公表している基本方針をご参照いただきたい。
	子どものためと言われたが、建設場所を2か所にするべきと考えている。御所市の南側はますます過疎化していくのではないのか。	検討過程では部分再編の検討もあったが一時的それでも良かったとしても数年先には小規模校化が進行するため今回の再編計画となった。
	過疎化していくことが前提になっているのではないのか。益々不便になる。	子どもの教育環境のことを考えると集約することが望ましいと考えている。
	R13.4開校を目指しているが将来人口を調べているのか。幼稚園との連携は取れているのか。	将来人口からR13の児童生徒の人口は把握している。保育所（子育て推進課）との連携を進めながら基本計画の検討を行っている。
	市内の出生率が低下している状況や、近年義務教育学校が増えてきている背景を踏まえ、「ここで子育てをしたい」と思ってもらえるような特色を出していくことが大切だと考えるが、どのような特色を出していくべきか現時点で想定されているものはあるか、あるいは今後どのように検討を進めていく想定なのか。	特色ある義務教育学校の重要性は認識している。 御所の歴史文化を活かしたふるさと教育や、グローバル社会でも活躍できる人材を育てる教育などの視点を大切にしつつ、今後5年間で様々な意見を取り入れながら検討していく想定である。
	新しい学校の整備目標時期には市役所の移転時期も重なるが、駐車場確保などの観点からも、学校の整備だけでなく市役所跡地も含めた学校周辺をどのように整理していくか、といったことも検討してほしい。	スクールバスについては現在策定中の基本計画の中で検討していく内容なので具体的な回答はできないが、児童生徒が安全に登下校できるように市役所跡地の活用も含めて送迎用スペースの確保について検討していく。
	学校については財政状況が厳しい中でも期待している。1クラス10人以下という状況は教育環境として望ましくないように思う。ぜひ頑張ってください。	新しい学校づくりは子どもたちの教育環境を整えることが目標である。また、少人数クラスになると他の学校に通わせる世帯や市外へ転出する例もある。そのようなことが起きないようにしたい。
	県内での学校再編の状況は、どの程度のレベルになるのか。	県内の事例としては、下市町や王寺町などで同様の取り組みが進められている。 7つの小学校と4つの中学校を統合する今回の規模は、県内では初の試みである。
	自治会単位での説明会など、他の形での説明会は実施されるのか。	要望があれば「出前トーク」という制度で対応可能である。